

令和 5 年 6 月 10 日現在

機関番号：14403

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2019～2022

課題番号：19K00080

研究課題名（和文）物語としての浄土教—実証的宗教哲学からの探求

研究課題名（英文）Pure Land Buddhism as a Narrative &amp;#8212; A Pursuit from Positive Philosophy of Religion

研究代表者

岩田 文昭 (iwata, fumiaki)

大阪教育大学・教育学部・教授

研究者番号：00263351

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 2,400,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、浄土教における物語が動的に展開していった歴史を宗教哲学の観点から探求したものである。人間存在における浄土教の意味を歴史学や仏教学などの実証的研究の成果を踏まえて探求したことに本研究の特徴がある。研究代表者の岩田文昭は、浄土三部経からはじまった浄土教が善導・法然・聖光・證空・親鸞などを経て、展開した歴史を物語の解釈という観点から解明した。これらの研究のエッセンスは、『浄土思想』（中公新書）として2023年夏に刊行予定である。研究分担者の末村正代は、近角常観と同時代の鈴木大拙と西田天香を対象に、両者が言及する見性体験に関する言葉を手がかりとして、体験の物語化を考察した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

浄土教は日本の主要な宗教であり、その研究も教義学・歴史学・社会学など多岐にわたり詳細な研究がなされてきた。他方、一般向けには主観的な信念にもとづいた説教本が多く刊行されてきているが、学問的研究と民衆の宗教的欲求との乖離が見られる。

この状況に対して、本研究は、浄土教における物語の発生とその解釈の歴史を解明することで、民衆の宗教的欲求と学問的研究との間の乖離を埋め、総合的に浄土教のあり方を解明することを目指した。

研究成果の概要（英文）：This project focuses on the dynamic narrative history of Pure Land Buddhism from the viewpoints of the philosophy of religion. Positive approaches from recent academic standpoints like History or Buddhist Studies have given clues to the important meanings to human beings in Pure Land Buddhism. Iwata Fumiaki, as a leader of the project, delineates the historical development of the Three Pure Land Sutras through Shan-dao, Honen, Syoko, Syoku, and Shinran by reading and interpreting their narratives. This is to be published this coming summer, 2023 as Pure Land Thoughts (Chu-Ko Shinsho).

Suemura Masayo, as a member of this project, reads their narrative texts through the idea and experience of “Kensho”, especially by examining phraseology as a shared emotional experience of Suzuki Daisetsu and Nishida Tenko, for they were again contemporaries to Chikazumi Jikan.

研究分野：宗教学

キーワード：善導 法然 證空 親鸞 近角常観 鈴木大拙 阿闍世コンプレックス 手塚治虫

### 1. 研究開始当初の背景

浄土教は日本の主要な宗教であり、その研究も教義学・歴史学・社会学など多岐にわたり詳細な研究がなされてきた。他方、一般向けには主観的な信念にもとづいた説教本が多く刊行されたが、学問的研究と民衆の宗教的欲求との乖離が見られた。

この状況に対して、本研究は、浄土教における物語の発生とその解釈の歴史を解明することで、民衆の宗教的欲求と学問的研究との間の乖離を埋め、総合的に浄土教のあり方を解明することを本研究は目指した。

### 2. 研究の目的

物語は宗教の重要な構成要素の一つである。とりわけ、浄土教においては、その救済の根幹に物語がある。浄土教の物語は、善導・法然・澄空・親鸞・聖光といった仏教者に対して、宗教的世界を開くとともに、そこからさらに新たに高僧伝のような物語が生まれ、さまざまな宗教的世界を開いてきた。

本研究は、このような物語の動的連関に焦点をあて、浄土教のもつ宗教的意義を考察するものである。この考察は、最終的には宗教全般、さらにはスピリチュアルな物語について研究の基盤になることを遠い展望としている。

### 3. 研究の方法

本研究の主要な研究方法、文献を収集しその読解をすすめるというものである。当初の研究計画においては、この分野の代表的研究者にインタビューの予定もあったものの、あいにくの新型コロナウイルスの蔓延のため対面でのインタビューは困難な状態となった。その代わりに、zoomなどのインターネットに慣れた若手・中堅の研究者とネット上で頻繁に交流し、研究の情報交換を行った。

また松ヶ岡文庫調査や外国での資料調査も、新型コロナウイルスの影響で大幅に研究計画を縮小せざるをえなかったものの、2022年度には、研究分担者の末村正代は松ヶ丘文庫の調査と北米での千崎如幻のアメリカ禅布教生活の調査を行うことができた。

### 4. 研究成果

研究代表の岩田文昭の研究の根本的部分は、2023年夏に刊行予定の『浄土思想』(中公新書)にて発表される。その章構成は、以下の通りである。

#### 第1章 物語の力と浄土思想

- 1 経典への向き合い方
- 2 浄土三部経

#### 第2章 中国の浄土思想

- 1 観無量寿経の解釈
- 2 善導の神秘的体験と生涯
- 3 浄土思想の大成者
- 4 善導の布教方法

#### 第3章 平安浄土思想から法然へ

- 1 源信の往生物語

- 2 日本浄土思想の元祖法然
- 3 法然の神秘的体験と法然伝
- 第4章 法然門下の諸思想
  - 1 念仏と自由意志
  - 2 證空の生涯と思想
  - 3 當麻曼荼羅の流布
- 第5章 親鸞の浄土観と物語論
  - 1 親鸞の生涯
  - 2 親鸞による浄土の非神話化
  - 3 親鸞の夢と親鸞伝
- 第6章 二〇世紀の新たな物語
  - 1 近角常観の「実験の物語」
  - 2 阿闍世王コンプレックスと『ブツダ』

#### 終章 物語は現代に続く

本書において、岩田は、浄土教における物語が動的に展開していったさまを、歴史学や仏教学などの実証的研究の成果を取り入れ、それを宗教哲学の観点から解明することを目指した。その要点を述べれば、

1) 中国の善導の研究。主に、善導の『観無量寿経疏』理解について、梯実圓、津田左右吉、牧田諦亮、齋藤隆信、佐藤成順、柴田泰山らの著作により浄土教の物語を構築した善導像を明確にした。

2) 法然の思想と法然伝についての近年の研究成果の調査。この調査により安達俊英や平雅行らの研究を吟味した。

3) 法然門下の思想、とくに證空と親鸞の思想を検討することで、そこに物語としての浄土教の論理を指摘した。

4) 親鸞における物語論の検討と近現代日本における浄土教の物語の意義について考察した。

研究分担者の末村正代は、近角常観と同時代の鈴木大拙と西田天香を対象に、両者が言及する見性体験に関する言葉を手がかりとして、体験の物語化を考察した。主として禅的観点から検討したが、いずれも特定の教団に属する宗教家ではないため、浄土思想を含めた多角的考察を試みた。

鈴木大拙に関しては、新型コロナウイルスの影響で計画通りに松ヶ岡文庫調査を実施することはできなかったため、主に文献研究を進めた。また、少量ではあるが、大拙と同門である渡米禅者・千崎如幻の資料調査を通じて大拙関連の新資料が見つかったため、アメリカでの語りに焦点を絞って研究をおこなった。

西田天香に関しては、天香の創始した修養団体・一燈園の資料館に所蔵されている未発表資料、近年新たに発見された新資料を対象とした西田天香資料プロジェクトに参加しながら、天香の語りの分析を進めた。とくに新資料は、一燈園の立ち上げ以前のものが多く含まれているため、天香の回心体験の物語化を跡づけるうえで有意義な資料であった。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計4件（うち査読付論文 1件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 1件）

1. 著者名 IWATA Fumiaki	4. 巻 Third series 1 (1)
2. 論文標題 Religion and Philosophy: Miki Kiyoshi 's Philosophy of Religion	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The Eastern Buddhist	6. 最初と最後の頁 7-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 末村正代	4. 巻 9
2. 論文標題 近代における日本宗教の越境 千崎如幻を事例として	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『宗教と倫理』別冊	6. 最初と最後の頁 26-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 吉永進一・末村正代	4. 巻 34
2. 論文標題 高野山・密教関係のピアトリス資料について	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 公益財団法人松ヶ岡文庫研究年報	6. 最初と最後の頁 1-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 末村正代	4. 巻 49
2. 論文標題 北米禅における実践の萌芽 二つの英訳『無門関』から	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 『比較思想研究』	6. 最初と最後の頁 95-101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計10件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 2件）

1. 発表者名 末村正代
2. 発表標題 変容する移民社会と禅布教 世界仏教徒大会と千崎如幻を事例に
3. 学会等名 第80回日本宗教学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 末村正代
2. 発表標題 英訳禅籍からアメリカ禅を考える 二つの英訳『無門関』
3. 学会等名 第71回仏教史学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 末村正代
2. 発表標題 近代おける日本宗教の越境 千崎如幻を事例として
3. 学会等名 2020年度宗教倫理学会夏季研修会（Zoom開催）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 末村正代
2. 発表標題 The Disciples of Shaku Soen's Zen Internationalization Movement and Eugen Herrigel
3. 学会等名 東アジア文化交渉学会第12回国際学術大会（フリードリヒ・アレクサンダー大学）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岩田文昭
2. 発表標題 吉永進一の略歴と研究の特徴
3. 学会等名 第81回日本宗教学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 末村正代
2. 発表標題 パンデミックで考える「自由」 鈴木大拙の宗教経験論を手引きとして
3. 学会等名 東アジア文化交渉学会第14回国際学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 末村正代
2. 発表標題 北米禪におけるreality 千崎、ブライス、大拙
3. 学会等名 第49回比較思想学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 末村正代
2. 発表標題 近代における日米宗教者の交流に係る二、三の事例
3. 学会等名 第14回南山宗教研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 末村正代
2. 発表標題 Koken Murano: The Principal Author of Histories of Overseas Buddhist Missions
3. 学会等名 Zenshujū 100th Anniversary Lecture Series (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 末村正代
2. 発表標題 北米禪に底流する詩情 千崎如幻とその詠歌
3. 学会等名 「文学と宗教」研究会
4. 発表年 2023年

〔図書〕 計4件

1. 著者名 岩田 文昭、碧海 寿広 (分担執筆 末村正代)	4. 発行年 2020年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 268
3. 書名 知っておきたい 日本の宗教	

1. 著者名 島園 進、末木 文美士、大谷 栄一、西村 明 (分担執筆 岩田文昭)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 春秋社	5. 総ページ数 260
3. 書名 近代日本宗教史 第二巻 国家と信仰	

1. 著者名 田中久文、藤田正勝、室井美千博、岩田文昭ほか	4. 発行年 2019年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 308
3. 書名 再考 三木清	

1. 著者名 井上克人・末村正代ほか	4. 発行年 2020年
2. 出版社 ユニウス	5. 総ページ数 296
3. 書名 東アジア圏における文化交渉の軌跡と展望	

〔産業財産権〕

〔その他〕

近角常観研究資料サイト <a href="https://www.chikazumi.org/">https://www.chikazumi.org/</a>
--

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	末村 正代  (Suemura Masayo)  (60809664)	南山大学・宗教文化研究所・非常勤研究員   (33917)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件



8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------